

宮本美佐子

私は畜産、なかでもとりわけ肉用牛（黒毛和種）の飼養管理に強い関心を持っていたため、人民大学との交流に今年のテーマが「耕畜連携」や「環境保全型農業」であることを知って、できれば「島根型地域放牧」を人民大学の皆さんに紹介したいと考え、異文化交流Ⅱの受講生になりました。



「中日学生学術交流会」では各大学からそれぞれ2つずつ、合計4つのテーマの発表がなされました。私たち関ゼミは第二部を担当し、「山×里山×水田—島根県における環境保全型農林畜産業の再生に向けて」をテーマに、人民大学からは「土地総合整理と多産業複合経営の環境保全型農業について」

をテーマに、両大学ともに環境保全型農業という共通の事柄を報告し合いました。

「山×里山×水田—島根県における環境保全型農林畜産業の再生に向けて」では島根県の事例として、「島根型地域放牧」と「仁多堆肥センターを中心とした仁多地域の取り組み」を中心に報告しました。8月に仁多堆肥センターや飯南町にある島根県中山間地域研究センターを訪問してヒアリングした内容を交え、島根県が農業の再生に向けてどのような取り組みをしているのかを報告しました。参加した人民大学の学生の殆どは優秀な院生（なかには昨年、島根大学に来られた方や今月から京都大学に留学が決まっているという方もいらっしゃいました）でしたが、特に緊張することもなく、リラックスして発表に臨むことができました。報告後の交流会では英語や日本語、中国語、様々な言語が飛び交い、とても楽しく有意義な時間となりました。関先生は中国語、そして、人民大学の胡霞先生も日本語が堪能なので困ることもありませんでした。

今回の訪問では、人民大学の学食を体験したり、北京現代自動車工場や北京燕京ビール工場見学をしたりする機会を得ましたし、また、観光では万里の長城、故宮博物館、買い物では王府井に行くことができました。1元のバスにも2元の地下鉄にも乗車するという、一般的な観光ツアーでは味わえない、色々な経験ができました。



長年の両大学間での交流のお陰で、私たちは人民大学の皆さんからとても親切に接して頂くことができました。貴重な体験をさせていただいた人民大学と島根大学、引率の関先生、渡邊先生、通訳の朱さん、そして、チームメイトの皆さんに心より感謝申し上げます。